

ライオンズクラブ国際協会 336-A地区 2R-4Z

西条ライオンズクラブ会報誌 No.489

# 西条



2017-2018



会長スローガン

「忘己利他の精神で We Serve」

キーワード

「 ころのかたち 」

TOPIC

会員投稿

**うちぬき**

名水に乾杯

2017-2018 年度 ライオンズクラブ国際協会会長

ナレシュ・アガワル

# 「 We Serve 」

テーマ

国際協会ビジョン声明文 『地域社会と人道奉仕におけるグローバル・リーダーを目指す』  
ライオンズクラブ国際協会使命声明文

『 ライオンズクラブを通して、ボランティアに社会奉仕の手段を与え、人道的ニーズを満たし、平和と国際理解を育む 』



2017-2018 年度 336-A地区

# 「 Service Activity is the key to Lions Clubs 」

スローガン

(ライオンズクラブのキーは奉仕することである)

2017-2018年度 ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区ガバナー

川 辺 信 郎

# 「 新世紀・明日につなごう 奉仕の輪 」

スローガン

# 「 初心 」

キーワード



クラブ発展のために成すべき二つのこと ～LION 誌 2018 年 3・4 月号より抜粋～

末神裕昭 (北海道・札幌ライラック LC)

地球上では、推定 3 千万種とも言われる多種多様な生き物達が、さまざまにつながり合い、バランスを取り合い、環境の変化に合わせて自らも変化を遂げながら、過去から未来へ向けて絶滅と進化を繰り返しています。私たちの星地球が、生命を宿しながらかくも長く存在し続けられたのは、この「生物多様性」があったからと言われていています。同じ事はライオンズクラブにも言える、私はそう考えています。～省略～ ライオンズクラブでは一貫して、さまざまな分野で活躍する専門家やそれに準じた能力を持っている者が多く集まり、その経験や能力を生かす形で活動してきました。またこのような活動を持続するため、経験豊富な先輩メンバーが若いメンバーを温かく見守り、埋もれた人材を発掘し、適材適所で生かしながら、順次バトンを渡し続けてきました。その結果、常に新しいメンバーによるフレッシュで社会環境の変化に適応したクラブ運営が行われ、クラブ自体のレベルアップが図られてきました。「一人の英雄もいなく、一人の非協力者もない。」そのような理想が今日のライオンズを牽引してきたのです。これらは私たちに二つのことを教えています。

一つは会員を増やすことの意義と重要性です。クラブが活性化し持続するためには、職業も性別も生まれ育った環境も異なる多種多様な考え方をもつメンバーが、より多く集い知恵を出し合うことが不可欠です。もう一つは、「クラブはみんなまで運営していくもの」という意識を持つことの大切さです。先輩メンバーが経験を伝えつつ、若いメンバーに活躍と挑戦の場を与えながら順次バトンを渡し続けるのでなければ、クラブは停滞し、持続することが困難になってしまいます。逆説的に言えば、会員増強の努力を欠き、また特定のメンバーによって独断的かつ独善的に物事が決められるなど民主的な運営がなされていないクラブに明日はないのです。～以下、省略～ ※興味がある方は、L i o n 誌 2018 年 3・4 月号 P.44 をご一読下さい～



## うちぬき 名水に乾杯

塩崎己年夫

名水の事、これだけは知っておきたい気持ちで、多くの方の考えを聞きつつ、又、いろいろな資料を読み、思う事を少し書かせて頂きました。

石鎚山系のふもとにある西条市は、その恩恵により、古来より、全国的にも有名な希少な地下水の自噴地帯となっており、豊富な地下水『うちぬき』と呼ばれております。自噴井は現在確認されているだけでも、約 3000 ヶ所とも言われており、湧出量も一日あたり 90000 立方メートルに達しているとも言われています。

西条市は全国的にもまれな被圧地下水の自噴地帯が広範囲に渡って形成されており、一般的に一带では、長さ 15m~20mの鉄パイプを打ち込むだけで、良質かつ豊富な地下水が自然に湧き出して来ます。

その昔、人力により、鉄棒を地面に打ち込み、その中にくり抜いた竹を入れ、自噴する水（地下水）を確保していた様です。この工法は、江戸時代の中頃から昭和 20 年頃まで受け継がれていた様です。これが『うちぬき』という名前の由来だと聞きました。

小生が 56 年前、松山市より西条市へ、県の建物を設計工事監理監督に駐在していた頃は、地下水の常水面が高く、少し掘り下げると水が川のごとく勢いよく流れてくる状況で、大変工事が難工事で苦勞した覚えがありますが、松山に住む小生にとっては、自身の飲み水の事は、あまり考えた事はありませんでした。しかし、現在の状況を考えてかえりみますと、50 年余り前とは大きく変わりました。

その頃は、今の国道 11 号線に架かっている加茂川橋を、県宿舎の下宿先から毎日のように渡り、橋の下の川の流れとか、鮎やはやが沢山泳いでいた光景が昨日の様に思い浮かびます。現在は橋の下の水の流れは、一部分の水の流れで、随分様変わりし、昔の面影はありません。以前の川の光景を思い出し、このままでいいのかな・・・とってしまうのは小生だけでしょうか。

この石鎚山系を源流とした加茂川の伏流水の生んだ『うちぬき』は、名水で、しかも「おいしい水、安全な水」でもあるという恵まれた特徴を備えています。

『うちぬき』は昭和 60 年 7 月 21 日、環境庁により、**全国名水百選**に選出されました。**名水百選**とは、清澄な水で、地域住民の生活に溶け込んでいる水を再発見することを目的とし、選出されたものです。これによって、西条市民の方々は初めて『うちぬき』が全国的にも貴重なものである事を知り、改めて大切な水を西条の宝として、誇りを感じる様になりました。

又、平成 7 年 5 月 3 日に**全国利き水大会においても、全国一おいしい水の認定証**を頂きました。しかも、**2 年連続で日本一おいしい水の名誉**を頂き、改めて、西条のうちぬき水がおいしいという事が証明されました。

このおいしい水は西条の宝であります。天然のミネラルウォーター、うちぬき水は『**黄金水**』であります。

1 本のうちぬきは 1 億円の値打ちがあると、他県の方から聞いた事があります。他市から来た小生もそれ以上の値打ちがあると確信します。

石鎚山系の伏流水である為、天然の浄化(ろ過)作用が水を綺麗にしてくれ、又、外気温にも影響されず、温度変化が少ないという特徴があると言われています。

石鎚山系から瀬戸内海までの距離が短く、高低差が大きい事と、加茂川は比較的水が淀まない為、水の味を悪くする成分が溶け込みにくい為、軟水で癖がなく、飲みやすく、湧泉や『うちぬき』等によって常に地下水の揚水がある為、地下水の循環が促され、湛水が防止され、浄化作用が繰り返し行われているとの事であります。

水をめぐる歴史文化や優れた水環境の保全に努め、水を活かした町づくりに成果を上げている地域として、平成8年3月22日、西条市に、**水の郷百選**にも、国土交通省から認定されました。現在、**名水の郷**と多くの企業が西条市のシンボルとして、形容詞に使われるようになりました。

平成13年10月25、26日には、西条市が主催による、**水の郷サミット全国大会**にて、「水を活かしたまちづくり」について『水の郷宣言』が発表され、全国的にも有意義なサミット全国大会の開催となりました。西条のうちぬき水が全国に知られ、有名になり、名水について注目される様になりました。西条市、西条市民の熱い、水に対する情熱と努力の賜物だと思います。それから、大企業の進出、又、水を必要とする企業等々、西条市の名水、水の都で住み、おいしい安全な水を毎日飲みたいと多くの人が西条に住居を移し、生活の場と大きく発展してまいりました。

このように豊かな、素晴らしい水に囲まれた西条市で、豊かな感情も育まれると思います。このように豊かで素晴らしい水、川を大切に、50年先100年先を見据えた保全に力を注ぎ、美しい郷を守っていく事が私たちの努めだという事を忘れてはならないと痛感しております。



西日本一のステンレス鏡面看板 未来を切り開く日本刀のデザイン

平成元年12月設置



■ 心に残る思い出の一品 ■ [ Ver. 13 ]

越智美和  
2年続けて初夢に富士山が登場しました。  
その年のお誕生日に好きな女流画家の  
片岡珠子さんの絵を母からプレゼントして  
もらい部屋に飾ってます。運氣UPです！



■ 心に残る思い出の一品 ■ [ Ver. 14 ]



合田直司

私が20才の時の写真です。  
大阪ですし職人を目指し、1日3時間の  
睡眠でがんばっていました。  
厳しい修行でしたが楽しい時もたくさん  
ありました。

■ 心に残る思い出の一品 ■ [ Ver. 15 ]

今岡正士

2年前に弊社は創業以来50周年を迎える事ができました。この色紙は松山で50周年の祝賀会を行った時に、従業員の皆さんから頂いたものです。

思い出の一品といいましても2年前とまだ新しい品ですが、私にとって大切な宝物となりました。ここまでこられたのも、従業員、先輩、協力業者様のお蔭だと感謝の気持ちでいっぱいです。日本の企業の平均寿命は24年といわれていますが、お客様から頂いた仕事を一つ一つ丁寧に仕上げると共に、働き甲斐のある明るい企業を目指して60年、70年とさらなる発展と同時に地域社会にも貢献できれば幸いです。





■ 心に残る思い出の一品 ■ [ Ver. 16 ]

瀬川寛清

最近息子たちがラジコンに興味を持ち始め、ネットで見たり、ラジコンショップに行ったら「パパ、これ買って！」とうるさいので自分が小学生の時に買って作ったラジコンを息子達に渡しました。

しかし「これ、動かないよ」と言われ、部品を頼もうとしましたが「このラジコンは古すぎて部品がもうありませんよ」と断られ、ショックを受けていると、5年生になる次男が「俺が直すよ(^v^)」と言ってなんと、修理に取りかかってくれました。多分もう動かないだろうな、と諦めに近い気持ちでいたところなんと、見事に自分の持っている部品を使い、直してくれました。30年ぶりぐらいに動く姿を見て感激し、子供が成長しているなど感動を覚えました。



次期(2018-2019) キャビネット準備事務局だよ!

2月3日、次期キャビネット準備事務局の開所式が「まほろば」にて執り行われました。今期当初7月より、内局メンバーが準備を進め、この日を迎える運びとなりました。4Zに初のキャビネットが置かれるこの機会を、クラブ一丸となり支え、共に喜びあえるよう4Z内各クラブよりお花を届けました。



編集後記



今年も早くも3月です。私にとって、一番嫌な季節がやって来ました。そうです、花粉症のシーズン到来です。悩まされている人も多いと思いますが、早く花粉飛来が治まって欲しいものです。クラブでは上半期があつと言う間に終わり、下半期いよいよ残り3ヶ月となりました。事業資金獲得メインアクティビティーも今月より行われます。委員会、執行部の皆様におかれましては、遣り残したことはないでしょうか。今日という日、この時はもう二度とないのです。しっかりと心に、記憶に刻み込めるよう共に過ごしてまいりましょう。会報誌発刊についても、残り4回となります。57代西条ライオンズクラブを記録に遺していけるよう、頑張ります。

PR・広報委員会委員長 小野雅志

発行者	会長	植木光夫
	幹事	森下雄一
PR・広報委員長		小野雅志
編集委員		太田正宏・塩崎己年夫・伊藤孝司
		寺尾信司・山本新一郎・日野 求
例会日		毎月 第1・第3火曜日 (12:30~13:30)
例会場		西条商工会館
発行		西条ライオンズクラブ事務局
印刷		プリントワールド ONO

西条ライオンズクラブ

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市779-8  
西条商工会館3F

TEL(0897)56-3980

FAX(0897)56-9251

E-mail [saijo-1c@abeam.ocn.ne.jp](mailto:saijo-1c@abeam.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://saijo-lions.jp>

facebook

facebook

<http://facebook.com/saijo.lions/>